

【教育環境について】

- 多様なコミュニティで色々な考えを持てる子どもに育ってほしい。
- 他市では、統合により子どもたちのコミュニケーションの幅が広がり、学校生活が豊かになったと実感した。
- 競争心が芽生えるよう、ある程度のクラス数があった方がよい。
- 学校と地域が連携することで、防犯上のメリットや、学校の活性化に繋がる。
- 小規模の学校でも多様な考えに触れることはできる。
- 学校規模が大小様々である状態こそ、多様な考えが生まれることにつながるのではないかな。
- 他の地域の複式学級を調査して、成功事例を研究の上、複式学級で手厚く育てていくことも一つではないかな。
- 分校として合川小学校や天名小学校を残し、低学年は登下校の負担が少ない合川小学校や天名小学校にこれまでどおり通学する手法は検討できないのか。
- 物理的統廃合ではなく、ICTを使って新しい統合の仕方を考えてはどうか。
- 大人数になると不安を感じる子もいる。

【地域説明会に参加して】

- 年配の方の反対意見ばかりが先立つ気がする。保護者は、どう思っているのか。
- 統合に対する具体的なイメージが湧かない。
- 本日のような地域の声を聞くオープンな機会が、今後必要である。
- 反対意見をいかに拾い上げ、納得させるかが大事。

【情報の共有について】

- ホームページ等で、常に情報公開してほしい。
- 複式学級のメリットも説明すべき。
- 地域説明会を踏まえた検討結果を、どのような形で伝えるのか。
- 保育園や幼稚園とも情報共有されているのか。
- アンケートが古く、現在、未就学の子を持つ親の意見が、あまり反映されていない。

【これからの進め方について】

- 複式学級で過ごしていけるのであれば、統合をもう少し見送ってみても良いのではないかな。
- 天名小学校は昔からクラス替えができなかった、クラス替えのできる規模が本当に必要か。
- 反対意見・賛成意見等さまざまな声があったが、今後はどのように進めていくのか。
- 市が目指している“多様性”の価値観が合川・天名の地域の方の考えと違っている。
- 無理に急いで統合せず、スムーズな統合を目指して欲しい。
- スクールバスの置き去り問題が心配。
- 令和8年を目途に統合するのではなく、もっと話し合いをして地域を納得させてほしい。
- 子どもたちがどう思っているのか聞いてほしい。
- 100年以上続く学校の歴史を考えてほしい。
- 今後の具体的作業を進める際には、学校や保護者に任せるのではなく、教育委員会が主導して進めてほしい。
- 来年、策定する総合計画の中に盛り込んでいただきたい。
- 児童数減少の傾向から統合は免れない。統合するなら早い時期が良い。
- 反対派の意見も聞き、地域が分断することがないように進めていただきたい。

【地域について】

- 学校再編を契機に、地区が割れるのを避けたい。
- 新たな住宅が建設されてきているほか、将来的には、リニア中央新幹線の開業も予定されており、今後、人口が増える可能性があることから、地域から小学校が無くなることは、よくない。
- 地域コミュニティの核がなくなり、過疎化していく。
- 天名小学校や合川小学校が郡山小学校に吸収合併されるという見え方にならないか。

【10年後、20年後を見据えて】

- 南部一貫校の設立を願います。
- 10年かかっても新設するべき。
- 天名、合川、郡山、栄の4つの小学校の統合ならば、課題が解決するのではないかな。
- 小中一貫校を設置するという方向性はどうなったのか。
- 中長期的なビジョンを示した説明が必要。

【もし、学校が一緒になるなら】

- 現在、合川・天名小学校に通う児童(小規模特認校制度を利用する児童を含める)は卒業まで通うのか。
- 学童、PTA、スクールバスはどうするのか。
- 子どもたちへの周知はどうするのか。
- 各学校の歴史や文化をどう継承していくのか。
- 校歌や学校名はどうなるのか。
- 地域交流センターと連携した取組が必要になるのではないかな。
- 子どもが友達と歩いて通うことも大切にしたい。
- 小規模校でのきめ細かな学習指導を継続してほしい。
- 家庭や地域が相互に連携、協力して共につくり上げていきたい。
- 栄小学校も含め、子どもたちの交流機会をつくってほしい。
- 再編決定後も、子どもたちが快適に、安全に過ごせるよう必要な施設整備を実施してほしい。
- 不登校にならないよう対策を充実してほしい。
- 地域で子どもを育む雰囲気や学校と地域ボランティア等、地域の良さや取組が、統合後も失われないようにしてほしい。
- 令和8年4月に統合するのであれば、令和6-7年の2年間発生する複式学級について、教員や児童の負担が軽減させるよう準備してほしい。(市費での非常勤講師の採用、大学や大学生との連携、県へ教職員の配置要望 等)
- 新しい時代にふさわしい新しい学校を一緒につくっていけたら子どもたちにとっても地域にとっても誇りに思える経験になる。